



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」119号
Issue Date	2005-03-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66315
Type	journal
File Information	yuin119-2.pdf, 後半 : お知らせ・教員著作寄贈図書・会議



お知らせ

来館日誌

(平成16年4～12月)

No.	来館者	来館日	時間	人数	備考
1	とわの森三愛高等学校生徒	7月9日(金)	11:00-12:00	1	
2	函館東高等学校生徒	9月2日(木)	13:30-15:00	100	O Bが案内
3	滝川高等学校1学年PTA	10月6日(水)	10:50-11:50	40	
4	北海道立図書館職員	10月18日(月)	11:00-12:00	11	北方資料室見学
5	アメリカ国務省広報室の日本・韓国・台湾資料室担当官(エリザベス・レナード), 札幌アメリカンセンターレファレンス資料室職員(清水美佳)	10月28日(木)	15:00-17:00	2	意見交換 北方資料室見学
6	北海道ハイテクノロジー専門学校	10月29日(金)	14:30-16:00	41	
7	室蘭栄高等学校図書局生徒	11月11日(木)	10:30-11:30	8	図書館業務 施設の見学



北方資料室を見学するエリザベス・レナード氏(左から1人目),清水美佳氏(左から2人目)



熱心に館内を見学する室蘭栄高等学校図書館の生徒

オープンユニバーシティが実施されました

平成16年8月2日(月)に札幌キャンパスにおいて「平成16年度北海道大学オープンユニバーシティ」が実施されました。附属図書館では、「大学の図書館をみてみよう!」と題し、図書館とはどういうところなのか、どんなサービスがなされているのかを中心に参加者に説明しました。実施内容、参加者数等は以下のとおりです。

【本館】

◎内容

- ・館内ツアー（開架閲覧室→書庫→北方資料室→参考閲覧室）
- ・OPAC（蔵書検索）のデモンストレーションと体験

◎時間

- 1回目 11:00-11:45 2回目 13:00-13:45
- 3回目 14:15-15:00 4回目 15:30-16:15

◎配付資料

- ・図書館利用案内　ーはじめての方へー
- ・北方資料室概要
- ・OPACの使い方

◎参加者数

39名（各回合計）

本館および北分館の土日祝日の開館時間延長(試行)について

附属図書館では、土日祝日の開館（午後5時まで）を行っておりますが、昨年12月より本学の学生・院生・教職員への教育研究支援の強化を図るとともに、大学の社会貢献の一環として学外者への図書館利用サービスの向上を進めるため、土日祝日の開館時間を試行的に延長しております。

1. 実施日

平成16年12月からの土・日・祝日（休業期間を除く）

2. 開館時間

9時30分 ～ 19時00分

3. 各施設の利用時間

【本館】

開架閲覧室、新聞コーナー ……………（9時30分～19時00分）

書庫 ……………（10時00分～18時30分）

グループ学習室 ……………（9時30分～18時30分）

【北分館】

2階3階開架閲覧室、マルチメディア公開利用室、新聞コーナー、CNNコーナー
……………（9時30分～19時00分）

書庫 ……………（10時00分～18時30分）

4階閲覧室、個人閲覧ブース、グループ学習室 ……………（9時30分～18時30分）

4. 現在までの利用状況（2004/12/4-2005/2/27）

【本館】

17時以降の入館者数（平均） 168.9人

17時の時点での在籍者数（平均） 137.0人

18時30分時点での在籍者数（平均） 85.8人

【北分館】

17時以降の入館者数（平均） 146.7人

17時の時点での在籍者数（平均） 150.0人

18時30分時点での在籍者数（平均） 100.1人

1月末から2月上旬の定期試験期には、17時以降の入館者が本分館とも200人を超え、より多くの方に利用してもらえることができました。

今後も試行を継続し、本格運用に向けてより多くの方に利用してもらえるよう広報したいと考えております。

野村国際連合広報センター所長講演会を開催

平成16年7月30日北海道大学附属図書館で、野村彰男国際連合広報センター所長の講演会を経済学研究科・経済学部との共催で開催しました。「国連と平和－その今日的課題」をテーマとして、現在国連がおかれている状況や活動状況などを、野村氏が新聞記者として取材した経験をまじえて、お話しいただきたいへん興味深い講演となりました。

また、野村氏は、新聞記者として北海道支社に勤務されていたこともあり、大学紛争時代の北海道大学の様子を懐かしそうに話してくださいました。



野村国際連合広報センター所長

SciFinder Scholar/DiscoveryGate 合同説明会を開催

北海道大学で導入している化学系データベース「SciFinder Scholar」とトライアル中の「DiscoveryGate」の合同説明会をデータベースの提供元である、化学情報協会・エルゼビアMDL 社の方を講師として、平成16年10月4・5日に行いました。

理学研究科・理学部、工学研究科・工学部、農学研究科・農学部、薬学研究科・薬学部、地球環境科学研究科の各図書係および北キャンパス合同情報

資料室、附属図書館の共催で、学内3ヶ所の会場で行いました。農学研究科・農学会場では50名、理学研究科・理学部会場は106名、工学研究科・工学部会場は40名、合計196名と予想を超える多くの方々の参加がありました。

今回、理学研究科・理学部会場での「SciFinder Scholar」の説明は「中・上級編」として行い、化学情報協会の講師の方に少し高度な使い方を説明していただきました。

また、「SciFinder Scholar」単独の説明会を、地球環境科学研究科と水産科学研究科・水産学部の各図書係と附属図書館との共催で平成16年10月18・22日に開催しました。地球環境科学研究科会場では34名、水産科学研究科・水産学部会場では37名と多くの方々の参加がありました。

「DiscoveryGate」は、かつて冊子体で購入していた「Gmelin」と「Beilstein」のデータベースを含み、同時アクセス数に制限が無いため、注目を集めていました。

また、「SciFinder Scholar」は導入2年目となり、利用が増えてきましたが、同時アクセス数に制限があるため「使いたくても使えない」ことが多くなっています。「利用の少ない午前中に使用する」、「利用が終わったら必ずログアウト」するなど、一人でも多くの方が使えるように御協力をお願いいたします。

(情報サービス課参考調査係)



説明会の様子 農学会会場



理学部会場



工学部会場

平成16年度附属図書館インターンシップ(図書館実習)について

附属図書館では、平成12年度より他大学からの図書館実習の要請を受けてインターンシップ(図書館実習)を実施しております。平成16年度は、昨年度までの2大学に今年度初めて要請のあった藤女子大学を加え、3大学計10名の実習生を受け入れ実施しました。

図書館実習は、実際の図書館業務を体験してもらい職業意識を高めて頂くことを目的とし、ほぼ全業務を体験できるよう実習プログラムを作成しております。附属図書館(本館・北分館)の複数の係が図書館資料の処理の流れに沿って連携して実習を行っています。実習を終えた学生からは「貴重な経験ができ大変有意義なものでした」との感想が多く寄せられました。

平成16年度の実施状況

大学名	人数	日数	期間
筑波大学(旧図書館情報大学)			
図書館情報専門学群	1人	15日間	7月5日～7月26日
北海道武蔵女子短期大学			
教養学科図書館司書課程	6人	7日間	8月10日～8月18日
藤女子大学			
文学部文化総合学科図書館情報学課程	3人	5日間	9月6日～9月10日

年度ごとの受入人数

	筑波大学 (平成15年度まで図書館情報大学)	北海道武蔵女子 短期大学	藤女子大学	合計
平成12年度	2			2
平成13年度	3	6		9
平成14年度	0	6		6
平成15年度	2	5		7
平成16年度	1	6	3	10
計	8	23	3	34



カウンター業務を実習中の
筑波大生



概要説明に聞き入る
武蔵女子短大生の6人



目録業務を実習中の
藤女子大生の3人

平成16年度〔前期〕 研修出張報告会が開催される

この報告会は、当該年度に図書業務関係の研修等に参加した中から今後全学的に取り組むべき課題について、研修出張した職員が学内の図書系職員に研修内容を発表し全学的な情報の共有化を図ることを目的として開催しております。図書系職員研修の一環として平成14年度に第1回目を開催し、以後毎年度開催してまいりました。今年度の内容は以下のとおりです。

報告者には、研修出張の内容や感想・意見をまとめ参加者に伝えることでさらに理解が深まったり、プレゼンテーションの経験を積むことができるなどの効用があります。一方、参加者には、自らが実際の研修に参加していなくても間接的に関心のある情報を得ることができるなど、様々な効果をもたらしています。

日時：平成16年10月19日(火) 15:00～17:00 参加者：40名

報告内容と報告者

1. 平成16年度大学図書館職員長期研修

— 特に多様化する情報サービスについて —



相 原 雪 乃
(附属図書館情報管理課雑誌受入係長)

2. 国公立大学図書館協力委員会主催「平成16年度シンポジウム」

— 特にNACSIS-CAT/ILL・GIFの現状と課題について —



小 坂 麻衣子
(附属図書館情報サービス課相互利用係)

榆 蔭(北大図書館報)

3. 全国大学史資料協議会「2004年度総会ならびに全国研究会」

— 特に大学文書館について —



井 上 高 聡
(附属図書館研究員)



報告会の様子

北海道大学附属図書館講演会(平成16年度第1回)が開催されました

平成16年10月1日(金)北海道大学附属図書館会議室において、道内国公私立大学等の図書館職員を対象とした平成16年度第1回北海道大学附属図書館講演会が開催され、約70名の参加がありました。

今回の講演会では、常磐大学人間科学部現代社会学科助教授 栗山正光氏による「電子図書館プロジェクトから機関リポジトリへ」、千葉大学附属図書館情報サービス課長 尾城孝一氏による「学術コミュニケーションの変革期における大学図書館の取り組み：SPARC、オープンアクセス、機関リポジトリ」の2つのテーマのもとご講演をいただきました。学術雑誌の価格高騰とSPARC・オープンアクセス・機関リポジトリについて、筑波大学の電子図書館プロジェクトや千葉大学学術情報リポジトリの実際の取り組みとその課題等を交えた、大変刺激的な講演でした。講演後も両氏を交えた活発な質疑応答がなされていました。



栗山常磐大学人間科学部助教授



尾城千葉大学附属図書館情報サービス課長

北海道大学附属図書館講演会(平成16年度第2回)が開催されました

平成17年2月1日(火)北海道大学附属図書館大会議室において、道内国公私立大学等の図書館職員を対象とした平成16年度第2回北海道大学附属図書館講演会が開催され、67名の参加がありました。

今回の講演会では、北海道大学大学院理学研究科数学専攻数理解析学講座助手 行木孝夫氏による「“数学の海”とその背景」、千葉大学文学部行動科学科認知情報学講座教授 土屋俊氏による「なぜ大学は機関リポジトリを持たなければならないのか」の2つのテーマのもとご講演をいただきました。数学分野リポジトリである“数学の海”の構築・運用・課題について、大学図書館が機関リポジトリを運営する意義とリポジトリを巡る海外の最新情報や日本国内の状況等、大変有意義な講演でした。また、北海道大学附属図書館情報システム課情報管理係長 金子敏氏による「学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト：北大の取り組み」の報告があり、北大内での学術機関リポジトリに対する取り組みの現状と今後の展開についての説明がありました。



行木北海道大学理学研究科数学専攻助手



土屋千葉大学文学部教授

大学図書館等関連事業説明会 ～ NII Library Week 2004～ 開催される

国立情報学研究所（NII）が大学図書館等と連携して推進する各種事業についての説明会が、12月17日午後、NII 主催で附属図書館大会議室において開催されました。本説明会は、従来の新 CAT/ILL 説明会、学総目全国調査説明会、メタデータ・データベース共同構築事業説明会を統合し、平成15年より北海道地区を含む各地で年1回行われているもので、今年は北海道大学を始めとした道内32の教育機関・研究機関等から90名を越える職員が参加して行われました。

NII では我が国の大学等における学術情報基盤の整備流通を推進することを事業の目標としており、今回の説明会では、「CAT/ILL の現状と課題」、「機関リポジトリ報告」、「GeNii（学術コンテンツ・ポータル）説明」といった、我が国の情報発信の強化につながる最先端の学術情報技術を応用・運用した NII の各種事業について説明があり、今後の大学・研究機関における情報発信サービスの展開上重要となるこれらの事業に関して、各機関から盛んに質疑応答が交わされました。



貝田国立情報学研究所開発・事業部企画調整課長



茂出木国立情報学研究所開発・
事業部コンテンツ課長補佐



説明会の様子

教員著作寄贈図書

2004.7.1-2004.12.31

【本館】

(名誉教授)

渡辺 洋訳	クラリッサ		2004
谷口 博	心を癒す園芸療法	コロナ社	2004
中村 義男	化学熱力学の基礎	三共出版	2004

(文学研究科)

小田 博志	Spontanremissionen bei Krebserkrankungen	Beltz, Weinheim	2001
	aus der Sicht des Erlebenden		

(教育学研究科)

鈴木 敏正編著	地域づくり教育の新展開 (叢書地域をつくる学び13)	北樹出版	2004
---------	----------------------------	------	------

(法学研究科)

遠藤 乾、川島 周一	ヨーロッパ統合史史料総覧	旭図書刊行センター	2004
稗貫 俊文ほか著	独占禁止法	弘文堂	2004

(工学研究科)

横山 真太郎ほか訳	室内空気質のリスク評価	アイ・ケイコーポレーション	2004
青木 由直	魚眼で覗いた海外お国事情	共同文化社	2004
青木 由直	魚眼で覗いた微電脳世界	共同文化社	1990
青木 由直	私のニ(カード) 画廊	共同文化社	2004
青木 由直	旅のスケッチ 「きぼうの虹」 原画集	共同文化社	1997

(スラブ研究センター)

宇山 智彦編著	現代中央アジア論—変貌する政治・経済の深層	日本評論社	2004
---------	-----------------------	-------	------

(留学生センター)

常田 益代ほか訳	ヘルスケア環境のデザイン	彰国社	2004
常田 益代ほか著	装飾意匠にみる東西交流 (シルクロード学研究 Vol.18)	シルクロード学研究センター	2003

【分館】

(名誉教授)

渡辺 洋訳	クラリッサ		2004
中村 義男	化学熱力学の基礎	三共出版	2004

(教育学研究科)

鈴木 敏正編著	地域づくり教育の新展開 (叢書地域をつくる学び13)	北樹出版	2004
---------	----------------------------	------	------

(言語文化部)

工藤 正廣訳・解説	早朝列車で1936-1944: ボリス・パステルナーク詩集	未知谷	2003
-----------	-------------------------------	-----	------

ご惠贈誠にありがとうございました。図書館では本学教員が執筆した図書資料を収集しています。
新たに本を出版される際には、是非ご惠贈くださるようご協力お願い致します。

会議 (16.7.1～16.12.31)

【学 内】

◎図書館委員会

○第198回 〈10月29日（金）〉

議題

- 1 学術研究コンテンツ小委員会からの提案—2005年電子ジャーナル経費による全学利用の電子ジャーナル契約等について—

報告事項

- 1 北海道大学における学術機関リポジトリの在り方について
- 2 附属図書館の一部改修について
- 3 スラブ研究センターとの図書業務統合について
- 4 会計監査人による監査について
- 5 平成16年度国立大学法人等職員図書系専門試験について
- 6 大学図書館の最近の動向について
- 7 外国図書の購入について
- 8 インターンシップ（図書館実習）について
- 9 図書館講演会について
- 10 喫煙コーナーの廃止について

◎学術研究コンテンツ小委員会

○平成16年度第2回 〈8月2日（月）〉

○平成16年度第3回 〈9月15日（水）〉

○平成16年度第4回 〈11月10日（水）〉

【学 外】

◎国立大学図書館協会

○理 事 会 〈10月22日（金）〉（京都大学）

◎第78次国立大学図書館協議会

○ 〈10月1日（金）〉（名古屋大学）

◎北海道地区大学図書館協議会

○総 会 〈8月17日（金）〉（札幌国際大学）

○研究集会 〈8月24日（火）〉（北海道工業大学）

◎北海道地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

○ 〈11月25日（木）〉（北海道大学）

北海道大学附属図書館報「榆蔭」(ゆいん) 第119号 平成17年3月15日発行
〈編 集〉 「榆蔭」編集委員会
〈発 行〉 北海道大学附属図書館 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
TEL : 011-706-2967 FAX : 011-747-2855 ホームページ <http://www.lib.hokudai.ac.jp>